

徳島新聞生命科学分野研究支援
活動報告書

(様式3)

公益財団法人徳島新聞社会文化事業団
代表理事 米田 豊彦 殿

所属 徳島大学大学院 薬科学教育部 創薬科学専攻
博士前期課程 2年次

氏名 城 裕己



【研究活動成果】

貴財団のご支援によりこの1年間意欲的な研究活動に取り組みことができました。心より感謝申し上げます。

私はこれまで小胞体膜分子CLIN6が有するタンパク質の凝集を防ぐ機能を解析し、「CLIN6の機能領域の特定と疾患の相関関係」を記述した論文を発表しております(2020 共第1著者)。この1年間、前論文に立脚した研究を展開することで「CLIN6の異常に基づく疾患の発症メカニズム」の一端を解明し、論文投稿することができました(2021 筆頭著者 "Contribution of functional interference between CLIN6 mutants to the pathogenesis of neuronal ceroid lipofuscinoses")。将来的な目標である筋萎縮性側索硬化症(ALS)・パーキンソン病をはじめとする多様な難治性疾患に奏功する新規治療法の開発に向け、現在も研究を推進しているところです。

また、貴財団のご支援のおかげで日本薬学会・日本遺伝学会・日本人類遺伝学会・日本先天異常学会に参加し、研究を進められたおかげで研究成果をさまざまな学会で発表することができました。さらに、有意義な研究を進められたおかげで研究成果をさまざまな学会で発表することができました。アメリカで開催された国際学会17th annual WORLDSymposium 2021ではボスター発表を行いました、研究成果を世界に発信することができました。第59回日本薬学会中国四国支部学術大会ではオンライン発表し、学生発表奨励賞を受賞、加えて、第10回超異分野学会では一部上場企業から高校生までさまざまな分野から集い、90秒間を受賞するなど各方面ですばらしい評価を受けることができました。これほど多くの発表機会をいただけたいことも貴財団のおかげです。

第10回超異分野学会では研究者を志す高校生と繋がりを持つことができ、博士課程に進学する2021年度から研究アドバイザーとして次世代を担う高校生の教育活動にも携わることとなりました。さまざまな分野の大学教員、企業研究者、高校生らと交流する機会をいただけたいのも貴財団のご支援があったからこそだと感じております。

【支援金支出明細】

- 国際学会参加費 9,840円
17th annual WORLDSymposium 2021 (2021年 2/8-12)
- 国内学会参加費 8,198円
- 国内学会旅費 60,376円
- 第59回日本薬学会中国四国支部学術大会 (2020年 12/7-2021年 1/6)
第10回超異分野学会 (2021年 3/5-6)
- 日本薬学会第141年会 (2021年 3/26-29)
- 学会会員費 28,372円
- 日本薬学会・日本遺伝学会・日本人類遺伝学会・日本先天異常学会
- 研究文献資料経費 62,024円
- 消耗品経費 31,190円